

10・11月の行事予定

10月 1日(日) 昇級考試(3級以上) 千代田道場 午前9時~11時

10月 7日(土) 稽古お休み 秋祭りのため武道館が使用できません

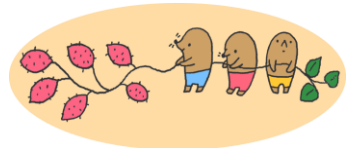
10月7日(土)~8日(日) 少林寺拳法世界大会 日本武道館
男子マスターズA 砂原良太・溝根貴之 組 出場

10月14日(土) ダルマ祭作文発表会 武道館 数名の拳士に優秀作文を発表していただきます

10月29日(日) 千代田パラティエスタ 千代田小学校 特設舞台で演武を披露します(詳細は後日連絡)

11月 5日(日) 昇級考試(3級以上) 千代田道場 午前9時~11時

11月19日(日) 河南地区連合演武大会 河内長野市立総合体育館 午前9時~(詳細は後日連絡)



“ダルマ祭演武大会” 素晴らしい演武と作文をおいごとう



少林寺拳法の祖師とも言える達磨大師。その遺された教えと修行法を再確認するために実施した「ダルマ祭演武大会」には、河内長野市内の4つの所属から、約80名の拳士が集いました。拳士それぞれが単独演武もしくは組演武を発表し、各道院から2~4名の拳士が優秀作文を発表しました。

田井 鉄二	「コロナ禍が教えてくれたこと」
砂原 彩奈	「私の寄るべ」
岸本 紗弥	「少林寺拳法を習い始めてからのわたし」
瀬戸 暉	「ぼくと少林寺けんぽう」

今年はいよいよ三市道院を中心に、世界大会出場拳士が数多く選出されたため、出場予定拳士の演武発表があり、とても見ごたえのあるダルマ祭演武大会となりました。また、作文発表においても、少林寺拳法を通じて自分の成長を確認し、人への思いやりの心や感謝の心を持つようになったことや、少林寺拳法の教え(金剛禅の教え)を日常生活に生かし、平和や社会の在り方にまで及ぶ考えを論じるものもあり、どの作文も素晴らしい内容でした。当道院の作文も素晴らしいものが多くありましたので、発表者の選出に苦労しました。行事予定にあるように、10月14日(土)には当日の選出に漏れた人の中から数名の拳士に、あらためて発表してもらいたいと思います。

達磨大師は、「不撓不屈」「七転び八起き」の言葉で知られているように、失敗したり負けたり、どんな状況にあっても決してあきらめず、チャレンジする行動力の大切さを教えてくれています。私たちも少林寺拳法をはじめとして、様々なことでつまずき、嫌になることがあると思いますが、決してあきらめず、またチャレンジする強い心を持たなくてはなりません。拳士の皆さんには、ダルマ祭を通して「よし!また頑張るぞ!」という決意を新たにしてくれることを願っています。

